Cyber Security Information

サイバー セキュリティ インフォメーション

2023 Vol.3

今、起きていることから学ぶ
将来必要なサイバー犯罪被害防止のための知識

インターネットバンキングの不正送金※被害

令和５年上半期の被害額　約30億円

※ネット銀行のＩＤ・パスワードが盗まれ、預金が他人の口座に送金されてしまうこと。

警察庁：フィッシングによるものとみられるインターネットバンキングに係る不正送金被害の急増について（注意喚起）より

**あなたは、これを見て
こう考えていませんか？**

まだ銀行口座を持っていないし、
今の自分には関係ないことだなぁ。

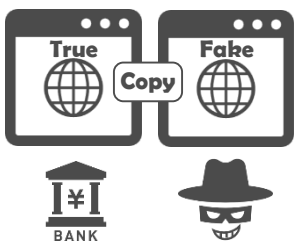
関係あります

被害防止対策は
今から使える知識

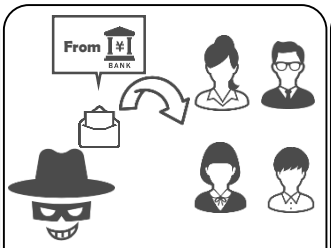
被害の多くは、フィッシングによるものとみられます。
皆さんが利用するＳＮＳやゲームなどのサービスで被害を受けることも。
今から対策をしておくことで、将来のサイバー犯罪被害防止につながります。

フィッシングの手口と被害防止について学びましょう

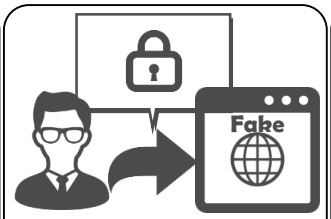
フィッシングとは
実在する企業のふりをして、ＩＤやパスワードなどの個人情報を盗むこと。



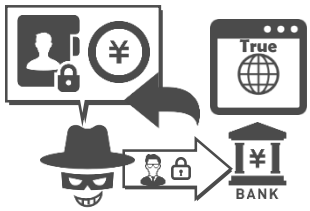
①犯人は、あらかじめ実在する企業の公式サイトとそっくりな偽サイトを作る。



②偽サイトにつながるリンク（ＵＲＬ）を記載したメールを様々な人にばらまく。



③メールにだまされた人が、ＩＤやパスワードなどの情報を偽サイトに入力する。



④だまされた人の情報を使ってアカウントにアクセスし、個人情報やお金を盗む。

偽サイトを開かないことが一番だけど、どのメールがフィッシングかわからない。
そこで、**サービスへのログインの習慣で被害を防止する！**

日頃から、ＩＤやパスワードを入力するサービスには
公式アプリや**公式サイト(ブックマーク)からログイン**する習慣
をつけることで、怪しいメールが来ても偽サイトを開くことを防止できます。

怪しいメールが来たら、保護者や警察に相談しましょう。

北海道警察サイバーセキュリティ対策本部